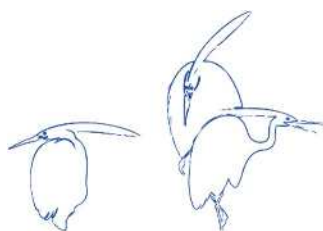


佐賀県立九州陶磁文化館
令和7年度年報



2025 **ANNUAL REPORT**
Kyushu Ceramic Museum

No. **45**



佐賀県立九州陶磁文化館
令和7年度年報・資料目録No.45

Annual Report &
Catalogue of Collections No.45
Kyushu Ceramic Museum
2025.4 ～ 2026.3

はじめに

このたび、令和7年度の事業概要をまとめました。

令和7年度は、主催展として開館45周年記念特別企画展「初期伊万里ビッグバン」を開催いたしました。共催・後援展として「有田国際陶磁展」「溝上和政展」など9つの展覧会を開催し、陶芸文化の普及・向上に貢献いたしました。

また、11回にわたるやきものセミナーを通じて、陶磁器に関する知識や展覧会のみどころなどを解説して、より深い知識や体験を提供することにより、多くのお客様にご好評をいただきました。

イベント・行事では、年間を通して充実を図り、夏休み子供向けイベントとして箸置き作りや陶片アート作り、秋は本格的な絵付け体験、クリスマスにはツリー作りなどのワークショップに加え、ミニコンサートを開催し、小さなお子様からご年配の方まで多くのお客様に楽しんでいただきました。

また、令和8年2月から当館3階に、ミュージアムカフェ「CAFE USEUM ARITA」がオープンし、地元有田の食材、有田焼の名品や人気窯元の器を使用した、料理を提供しています。

海外からのお客様も含め、昨年度を上回るお客様に来館していただいております。今後さらに、多様なサービスが求められていくことから、お客様が学びを深められるよう、歴史的・文化的背景を考慮した資料の解説を行うとともに、国内からの来館者を惹きつけるような積極的な情報発信など施設そのものの機能強化や地域と連携した取組を持続的かつ発展的に進めてまいります。これまで以上に多くの皆様に御利用いただけるよう職員一同努力を重ねてまいりますので、引き続き関係各位の御指導と御協力をお願い申し上げます。

佐賀県立九州陶磁文化館

館長 鈴田 由紀夫

目 次

はじめに	1
目 次	2
1 概 要	
(1) 設立の目的	3
(2) 活動の目的	3
(3) 沿革	4
(4) 施設・設備の概要	5
(5) 組織・職員・協議会委員・資料専門委員	8
(6) 佐賀県立博物館施設資料購入指針	10
(7) 佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程	11
(8) 佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領	14
2 事 業	
(1) 展示活動	
① 常設展 九州の陶磁	15
② 企画展・テーマ展など	21
③ 九州陶磁文化館やきものセミナー	31
④ 利用状況	32
(2) 館蔵資料等の貸出・閲覧・撮影など	
① 貸出資料数一覧	33
② 館蔵資料等の閲覧・撮影・画像原稿借用・画像使用等	33
(3) 教育普及活動	
① 展示案内	34
② イベント・行事など	35
③ 印刷物等の刊行	41
④ インターンシップ・職場体験・研修の受入れ	43
⑤ 講演など	44
(4) 調査研究活動	
① 調査	45
② 調査協力・広報・研修など	46
③ 依頼資料調査	46
(5) 資料収集活動	
① 関係資料の収集	47
② 図書資料の収集	47
※ 文化財の指定	48
3 佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 令和7年度	49

1 概 要

(1) 設立の目的

佐賀県立九州陶磁文化館は、肥前陶磁をはじめ、各地域において独自の伝統を継承発展させてきた九州の陶磁器に関し、その文化遺産の保存と陶芸文化の発展に寄与する目的で設立されました。

そのため、歴史的、美術的、産業的にみて重要な資料を収集・保存・展示し、あわせて調査研究や教育普及活動を行っています。当館は、九州の陶芸文化に関する総合的施設の位置にあるばかりでなく、国際的にも注目される存在となることをめざしています。



(2) 活動の目的

① 展示活動

4つの展示室からなる常設展は、有田焼や九州の陶磁器の歴史と特色が順を追って把握できるように構成されています。

第1展示室（有田焼の歴史）から始まり、第2展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）、さらに第4展示室（現代の九州陶芸）と続いています。

有田焼の歴史や文化を有田焼の名品とデジタル映像や展示空間で学ぶことができる第1展示室、江戸時代の有田磁器約千点を展示する柴田夫妻コレクションの第2展示室、九州各地の古陶磁を鑑賞する第3展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第4展示室というそれぞれの特色があります。

館の展示内容を外国人にもわかりやすいものに磨きあげ、有田焼をはじめとする本県が誇るやきもの文化の魅力や価値を国内外に発信することを目的に第1展示室のリニューアルを行い、令和4年（2022年）4月9日にリニューアルオープンしました。

② 収集活動

国の内外を問わず、九州の陶磁に関して、体系的に資料（陶磁器・出土資料・古文書・古記録等）の調査収集を行っています。また、資料の充実を図るため、購入や寄贈の受入等にも努めています。

③ 調査研究活動

九州の陶芸や陶磁産業を歴史的・総合的に明らかにするために、考古学・美術工芸史など様々な分野にわたる資料・文献の調査収集に努めています。また、学術講演会や国内外の機関との交流を通じて研究の進展を図っています。

④ 教育普及活動

展示案内等を行うことにより陶芸文化に対する理解を深め、さらに陶芸実習室を創作活動の場として提供するなど、広く陶芸文化に関する普及活動を行っています。

○佐賀県立九州陶磁文化館条例（昭和55年3月27日佐賀県条例第14号）

第1条 陶磁器及び陶磁器に関する資料の収集、保存、展示並びに調査研究を行うとともに、その教育普及を図り、併せて九州圏域の陶磁文化の振興に寄与するため、佐賀県立九州陶磁文化館（以下「陶磁文化館」という。）を設置する。

(3) 沿革

昭和 48	(1973)	. 1. 8	有田町長他、国際陶芸美術館建設について陳情
昭和 51	(1976)	. 4	陶芸文化施設調査費を計上
	52 (1977)	. 4	陶芸文化施設調査費を計上
	52 (1977)	. 6	佐賀陶芸文化センター（仮称）建設計画案を作成
	52 (1977)	. 11	基本設計委託をアルセッド建築研究所と契約
	52 (1977)	. 11. 24	第1回佐賀県陶芸文化センター建設委員会開催
	52 (1977)	. 12. 8	佐賀県陶芸文化センター建設促進協力会設立（会長 鍋島直紹）
	53 (1978)	. 2. 28	基本設計完了
	53 (1978)	. 3. 29	建設費関係予算決定（約 19 億円）
	53 (1978)	. 4. 1	専任職員 3 名を配置
	53 (1978)	. 11. 15	建設工事入札
	53 (1978)	. 12. 20	設備工事入札
	53 (1978)	. 12. 27	用地譲渡契約締結（有田町より無償譲渡）
	54 (1979)	. 1. 16	起工式
	54 (1979)	. 5. 11	正式名称打合会（「西日本陶磁文化館」の案）
	54 (1979)	. 7. 6	正式名称「佐賀県立九州陶磁文化館」と決定
	54 (1979)	. 10. 3	外構・植栽工事入札
	55 (1980)	. 3. 25	佐賀県立九州陶磁文化館竣工（建設工事費：1,745,100 千円）
	55 (1980)	. 3. 27	佐賀県立九州陶磁文化館条例・同管理規則等を公布
	55 (1980)	. 11. 1	開館
平成 元	(1989)	. 6. 12	染付鷺文三足大皿が重要文化財に指定
	05 (1993)	. 3. 25	柴田夫妻コレクション展示室完成
	05 (1993)	. 4. 29	柴田夫妻コレクション展示室が常設展の一室として開室
	06 (1994)	. 4. 1	旧窯業技術センター跡地(12,011.00 m ²)を当館敷地として所管換
	12 (2000)	. 2. 22	玄関自動ドア設置
	12 (2000)	. 12. 4	染付山水文輪花大皿が重要文化財に指定
	12 (2000)	. 12. 28	有田焼からくり時計設置
	14 (2002)	. 3. 20	来館者用トイレ改修・増設
	18 (2006)	. 3. 31	有田磁器（柴田夫妻コレクション）10,311 点が国登録有形文化財（美術工芸品）に登録
	26 (2014)	. 3. 31	防犯カメラ改修・新設
	27 (2015)	. 3. 16	身障者駐車場屋根設置
	27 (2015)	. 3. 16	収蔵庫棚新設
	27 (2015)	. 3. 20	館内 Wi-Fi 環境整備
	30 (2018)	. 10. 4	来館者用トイレ改修(洋式化等)
	31 (2019)	. 1. 21	非常用発電機更新
	31 (2019)	. 3. 27	大韓民国国立光州博物館との学術交流協定締結

令和 2 (2020) . 11. 1	開館 40 周年
3 (2021) . 3. 19	荷物用エレベーター (1 号機)・乗用エレベーター (2 号機) 更新
4 (2022) . 3. 28	グローバル化推進事業 (常設展示リニューアル等)
4 (2022) . 4. 9	常設展示 (有田焼の歴史) 等を更新し、リニューアルオープン
6 (2024) . 3. 4	乗用エレベーター (3 号機) 更新
6 (2024) . 11. 12	キャッシュレス決済開始
7 (2025) . 3. 14	第 3～5 展示室天井改修
8 (2026) . 2. 17	3 階 カフェ ユージアム アリタ (CAFE USEUM ARITA) オープン

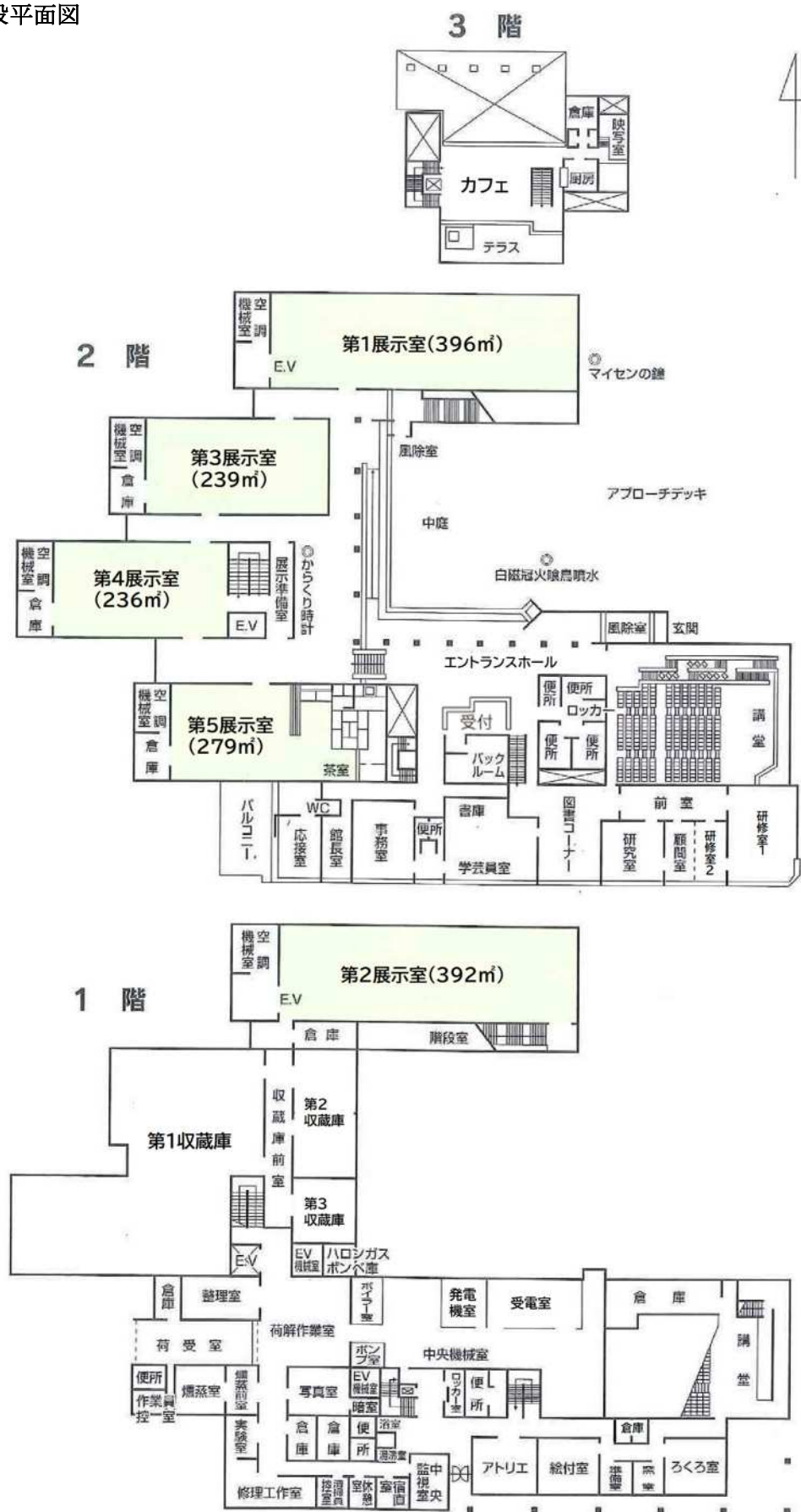
(4) 施設・設備の概要

所 在 地	佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100－1
設計管理	内田祥哉＋アルセッド建築研究所
施工業者	(1) 建築・外構…住友建設・松尾建設共同企業体 (2) 設備工事・電気設備…新生電業・宮園電気共同企業体 (3) 空調設備…丸紅設備・昭栄設備工業共同企業体 (4) 給排水設備…葉隠設備工業 (株) (5) 植栽…中村永楽造園土木 (株)
工 期	昭和 54 年 (1979 年) 1 月 16 日～昭和 55 年 (1980 年) 3 月 25 日
規 模	(1) 敷地面積 : 43,619.59 m ² (2) 建築面積 : 3,831.93 m ² (3) 延床面積 : 6,526.54 m ² (4) 構 造 : 鉄筋コンクリート造地上 2 階、一部 3 階建
主要設備	(1) 電気設備 設備容量 : 350 KVA (6,600V 受電) 発電機 : 125 KVA (220V) (2) 空調設備 冷 暖 房 : 吸収冷温水機 (能力 544,320.0 kcal/h) 平成 6 年施工 そ の 他 : 防排煙連動操作設備 (防火シャッター、排煙ファン) 等 (3) 給排水設備 給水設備 : 町水道使用、受入槽 30t (15t 2 基) 排水設備 : 町公共下水道 消火設備 : 屋内消火槽、ハロンガス消火設備等 そ の 他 : 給湯設備、身障者便所等

(単位：㎡)

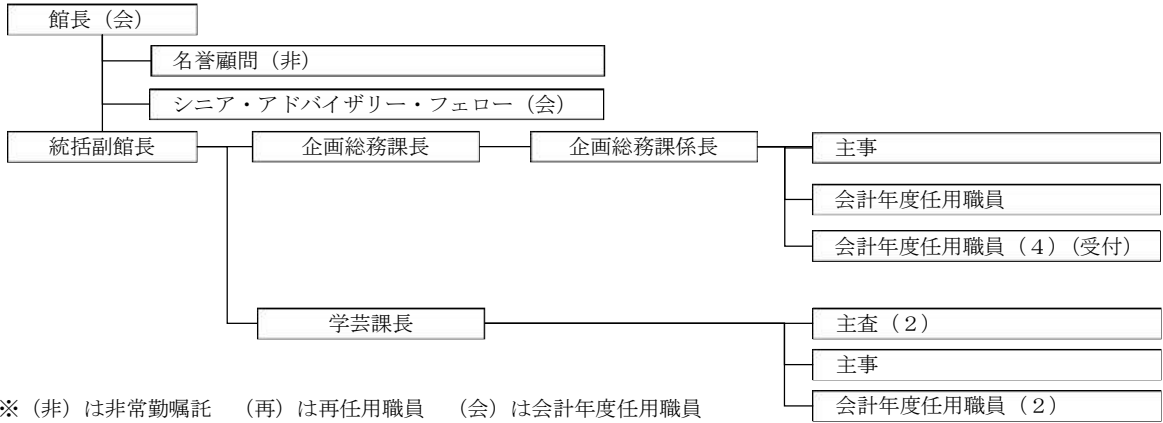
部 門	室 名	室数	面 積	備考
展示施設	第1展示室	1	396.26	
	第2展示室	1	392.13	
	第3展示室	1	239.54	
	第4展示室	1	236.95	
	第5展示室	1	279.56	
	展示準備室・倉庫	1	169.70	
	小 計		1,714.14	
収蔵施設	第1収蔵庫	1	532.68	
	第2収蔵庫	1	105.50	
	第3収蔵庫	1	52.44	
	その他	1	553.80	
	小 計		1,244.42	
研修施設	講堂	1	385.49	
	陶芸実習室	4	122.38	
	一般研修室	2	203.76	
	図書コーナー	1	102.49	
	その他		154.85	
	小 計		968.97	
研究施設	研究室	1	54.58	
	実験室	1	19.21	
	その他	1	56.05	
	小 計		129.84	
管理施設	機械室		355.69	
	事務室等		553.99	
	小 計		909.68	
共通施設	展示ホール		406.73	
	エントランスホール		284.15	
	その他		868.61	
	小 計		1,559.49	
合 計			6,526.54	

施設平面図



(5) 組織・職員・協議会委員・資料専門委員

① 組 織



② 職 員

令和 8 年 (2026 年) 3 月 31 日現在

職名	氏名	事務分掌
館長	鈴田 由紀夫	館の代表
名誉顧問	大 橋 康 二	館運営の専門的見地からの助言
総括副館長	江 副 敏 弘	館の総括
シニア・アドバイザー・フェロー	徳 永 貞 紹	資料調査・研究、展示・普及等に関する助言及び学芸員の育成。海外美術館等との交流による国際化推進のマネジメント
企画総務課長	大久保 清人	課の総括
企画総務課係長	岩 永 香 奈 子	係の総括、企画・広報、予算・決算、施設管理（工事関係）
主事	三ヶ島 成海	収入事務（寄附金等現金収納）、契約支出事務（需用費、役務費、委託料、使用料）、施設維持管理（施設設備・植栽）
会計年度任用職員	久保田 正久	ホームページ管理、収入事務（使用料）、支出事務（報酬、報償費、費用弁償、単価契約、備品購入）、物品管理、使用許可（駐車場等）
会計年度任用職員	朝 長 幸 子	受付・窓口業務、通販発送、入館者統計、図録等の在庫集計等
会計年度任用職員	杉 原 由 美 子	受付・窓口業務、通販発送、入館者統計、図録等の在庫集計等
会計年度任用職員	山 口 佐 知	受付・窓口業務、通販発送、入館者統計、図録等の在庫集計等
会計年度任用職員	井 手 由 紀 子	受付・窓口業務、通販発送、入館者統計、図録等の在庫集計等
学芸課長	藤 原 友 子	課の総括、資料調査・研究・収集・管理・普及・展示（特別企画展等）
主査	芳 野 貴 典	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示（特別企画展等）
主査	宮 木 貴 史	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示（特別企画展等）
主事	巖 由 季 子	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示（特別企画展等）
会計年度任用職員 （学芸員）	前 田 小 百 合	館内・展示説明業務、学芸課業務補助、図書の整理・管理等
会計年度任用職員 （英語対応）	川 内 野 啓 子	出版物・展示キャプションなどの翻訳、英語での展示案内等

③ 協議会委員

任期：令和7年（2025年）6月23日～令和9年（2027年）6月22日

氏 名	役 職 名
青木 宏文	佐賀新聞伊万里・有田支局長
石井 秀夫	佐賀県議会議員
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長
上野 菜穂子	特定非営利活動法人アリタカラ代表理事（公募委員）
蒲地 桃子	有田商工会議所副会頭
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会会長
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長
鍋島 順仙窟	茶道裏千家淡交会佐賀支部幹事長
松尾 佳昭	有田町長
三木 悦子	佐賀大学准教授
村上 伸之	有田町歴史民俗資料館館長
谷上 佳純	西有田中学校教諭
古川 朋子	有田町婦人会会員
松尾 あずさ	特定非営利活動法人 学童保育べんじゃらきっず主任

令和8年（2026年）3月31日現在

④ 資料専門委員

任期：令和7年（2025年）9月1日～令和9年（2027年）8月31日

氏 名	役 職 名
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会会長
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長
福原 透	元 八代市立博物館未来の森ミュージアム副館長

令和8年（2026年）3月31日現在

(6) 佐賀県立博物館施設資料購入指針

佐賀県立博物館施設資料購入指針

(趣旨)

第1条 この指針は、規則その他規程に定めがあるものを除き、佐賀県立博物館・美術館、佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館（以下「各館」という。）の資料購入を行うための、必要な事項を定めるものとする。

(資料収集調整委員会)

第2条 各館の購入資料は、すべて別途定める「佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「委員会」という。）」において、選定するものとする。

(資料購入費の配分)

第3条 委員会事務局は、各館の購入実績等を踏まえ、事前に資料購入費の一応の目安額となる配分額を示すものとし、その調整は委員会において行うこととする。

2 購入資料の選定後、文化課は各館からの申請により資料購入費を再配当する。

(購入予定資料の評価)

第4条 委員会で選定した購入資料のうち、一件の購入予定価格が400万円以上のものについては、当該資料と直接利害関係を有しない複数の学識経験者等に意見を求めるものとする。また、購入予定価格の如何を問わず、評価が困難なものについても同様の取扱とし、適正な評価に努めなければならない。

(購入の取りやめ)

第5条 前条の評価の結果、購入が適当でない場合や市場の変化等により購入が不可能となった場合の購入とりやめの判断は各館の館長が行うものとする。なお、その際は委員会事務局へ速やかに報告することとする。

(資料の購入先)

第6条 資料購入先は、同一業者に偏向しないように配慮する。なお、原則として、年に1,000万円以上の取引が過去3ケ年以上継続した業者からの購入は1年間見合わせる。

附則

(適用期日)

1 この指針は、平成24年5月9日から適用する。

(7) 佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程

佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程

(趣旨)

第1条 この規程は、佐賀県立九州陶磁文化館（以下「陶磁文化館」という。）が陶磁文化館資料（佐賀県財務規則（平成4年佐賀県規則第35号。以下「財務規則」という。）第143条第2項の規定による物品分類表中博物館資料に分類される物品をいい、以下「資料」という。）の購入、寄贈、寄託、一時預り、貸出し、公開等を行う場合における資料の管理・保管の方法について、財務規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

(資料の分類)

第2条 資料の分類は、別表1の分類により整理するものとする。

(資料の購入)

第3条 陶磁文化館で購入する資料は、すべて佐賀県立九州陶磁文化館資料専門委員会（以下「資料専門委員会」という。）で選定し、佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「調整委員会」という。）において決定するものとする。

2 陶磁文化館の常勤の館長又は統括副館長（以下「常勤館長等」という。）は、調整委員会で購入を決定した資料のうち1件あたりの購入予定額が400万円以上のものについては、専門委員会の委員から評価調書（別記様式第1号）により意見を求めるものとする。また、資料価値の算定が困難な資料については、購入予定額の如何にかかわらず、必要に応じて学識経験者等から意見を求め、適正な評価に努めなければならない。

3 常勤館長等は、前項の規定による評価の結果により購入を取り止めようとする場合又は購入が不可能と判断した場合は、不購入の決定を行うものとする。この場合は、調整委員会へ速やかにその旨を報告するものとする。

(資料の寄贈)

第4条 陶磁文化館に資料を寄贈しようとする者は、資料寄贈申込書（別記様式第2号）により申し込まなければならない。

2 常勤館長等は、前項の規定により申込みのあった資料について必要に応じて資料専門委員会に諮るなどの措置を講じ、陶磁文化館で所蔵することが適当と認めるものについては、寄贈資料受納調書（別記様式第3号）を作成し、受納を決定するものとする。この場合において、1件あたりの時価見積額が400万円以上の資料については、資料専門委員会の委員等による選定・評価を受けなければならない。

3 前項の規定により受納を決定した場合は、寄贈者に対し寄贈資料受納書（別記様式第4号）を送付するものとする。

(資料の寄託及び一時預り等)

第5条 陶磁文化館に資料を寄託（1年以上の期限を定めた寄託に限る。）しようとする者は、資料寄託申込書（別記様式第5号）により申し込まなければならない。

2 陶磁文化館が資料の寄託又は出品を所有者に依頼するときは、資料寄託・出品承諾書（別記様式第6号）又はこれに準ずる承諾書により所有者の承諾を得なければならない。

3 寄託の申し込みのあった資料で常勤館長等が認めたもの又は寄託の承諾を得た資料については、寄託資料受入調書（別記様式第7号）を作成し、受入れを決定するものとする。

- 4 前項の規定により寄託の受入れを決定したときは、資料寄託契約書（別記様式第8号）により契約を締結した後、寄託資料台帳（別記様式第9号）にその旨を登載するものとする。
- 5 展覧会への出品及び研究等のため短期間資料を預かるときは、出品者又は所有者に対し、資料一時預り証（別記様式第10号）を発行するとともに、一時預り資料台帳（別記様式第11号）にその旨を登載するものとする。ただし、企画展のための一時預りについてはこの限りではない。
- 6 埋蔵文化財（出土品）等所有権が確認できない資料について、現にその資料を管理している者から寄託及び出品の申し込みがあった場合又は同人に依頼する場合の手続については、当該管理している者を所有者とみなして前各項の規定を適用する。
- 7 佐賀県出土の埋蔵文化財のうち、国の保有する重要文化財等を1年以上継続して借用する場合は、第4項及び第5項の規定にかかわらず、国保有重要文化財等借用台帳（別記様式第12号）にその旨を登載する。

（資料の整理）

- 第6条 第3条及び第4条の規定により受け入れた資料は、当該資料一件ごとに資料カード（別記様式第13号）を作成し、整理しなければならない。
- 2 前項の資料には、資料ラベル（別記様式第14号）を貼付し、又は紐付けをして整理しなければならない。ただし、貼付し、又は紐付けすることが困難なときは、マーキングを施す等の適当な方法により整理するものとする。
 - 3 前条第4項に規定する寄託資料及び前条第7項の国保有重要文化財等については、前2項の規定を適用する。この場合において、前2項に規定する様式については、すべて赤字で表示し区別するものとする。

（資料の貸出し）

- 第7条 資料の貸出しは、原則として行わないものとする。ただし、教育、学術及び文化に関する機関、団体等が行う展示会に貸し出す場合で、資料の保管について十分な管理体制がとられると認められるときは、業務に支障がない場合に限り、常勤館長等が貸出しを許可することができる。
- 2 前項ただし書きの規定により貸出しを受けようとする者は、資料借用申請書（別記様式第15号）又はこれに準ずる申請書を提出しなければならない。この場合において、貸出しを受けようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者（第5条第6項に規定する場合は、当該資料を管理している者。第8条第2項において同じ。）の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
 - 3 常勤館長等は、前項の申請により貸出しを許可したときは、資料貸出台帳（別記様式第16号）にその旨を登載し、申請者に対し資料貸出許可書（別記様式第17号）を交付するものとする。また、貸出しに際しては、借受人から借用書を提出させるものとする。
 - 4 資料の貸出しを行なう場合又は返納を受ける場合は、物品出納員並びに担当学芸員が立会し、受渡し又は受取りを行うものとする。この場合において、資料に破損、汚損又は亡失があったときは、常勤館長等は借受人に対し必要な指示をするとともに損害の賠償を請求するものとする。

（資料の公開・特別利用）

- 第8条 資料の公開は、陶磁文化館が主催して展示を行うとき又は前条の規定により貸出すとき以外には行わない。ただし、学術上の調査研究、文化振興等の目的で資料の閲覧、撮影、フィルム等画像原稿借用、印刷物・電子媒体等での画像使用、複製等（以下「特別利用」という。）を求められたときは、資料の保存及び業務に支障がない場合に限り、常勤館長等は条件を付してその利用を許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により許可を得ようとする者は、資料特別利用許可申請書（別記様式第18号）又はこれに準ずる申請書を提出しなければならない。この場合において、許可を得ようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
- 3 常勤館長等は、前項の申請により特別利用を許可したときは、資料特別利用許可簿（別記様式第19号）にその旨を登載し、当該申請者に資料特別利用許可書（別記様式第20号）を交付するものとする。
- 4 資料の閲覧、撮影等実物の取扱を伴う特別利用は、担当学芸員の立会いのもとで行い、その指示に従わなければならない。
- 5 印刷物掲載等の画像使用を行った場合は、利用後速やかに成果品を常勤館長等に提出しなければならない。電子媒体による出版又は放送等で映像を使用した場合もこれに準ずる。

（補足）

第9条 この規定に定めるもののほか、資料の取扱いについて必要な事項は、別に常勤館長等が定める。

附 則

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年5月12日から施行する。

(8) 佐賀県立九州陶磁文化館等の使用に関する取扱要領

佐賀県立九州陶磁文化館等の使用に関する取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、佐賀県立九州陶磁文化館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(使用の申込み)

第2条 施設等の使用をしようとする者は、使用日の1月前までに、九州陶磁文化館施設等使用申込書（以下「申込書」という。）（様式第1号）を九州陶磁文化館の統括副館長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、統括副館長が特に認めた場合は、申込期限を経過しても申込書を提出することができる。

(使用の承認等)

第3条 統括副館長は、申込書を提出した者に対し、施設等の使用を認める場合は、九州陶磁文化館施設等使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

2 統括副館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を承認しないものとする。

- 一 営利を主たる目的とするとき。
- 二 館内の秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 館の資料及び施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- 四 集团的又は常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- 五 その他管理上支障があると認められるとき。

(使用目的の変更等の禁止)

第4条 前条第1項の規定により使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用目的を変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは他に転貸することができない。

(使用者の義務)

第5条 使用者は、使用に当たり次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 定員を超えて入場させないこと。
- 二 使用目的以外の物品の販売若しくは陳列又は公告物の掲示若しくは配布をしないこと。
- 三 館の資料及び施設等を毀損しないこと。
- 四 その他統括副館長及び職員（以下「統括副館長等」という。）常勤副館長等の指示に従うこと。

(使用承認の取消し等)

第6条 統括副館長は、使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の承認を取り消し、又は使用の中止を命ずることができる。

- 一 申込書の内容に偽りがあった場合
- 二 その使用が第3条第2項各号のいずれかに該当することが明らかとなった場合

三 前二条の規定に違反した場合

2 前項の規定により使用の承認を取り消され、又は使用の中止を命ぜられたことにより使用者に損害を生ずることがあっても、これに対する補償は行わないものとする。

(弁償)

第7条 使用者は、施設等の使用において資料又は施設等を亡失し、破損し、又は汚損したときは、統括副館長等の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

2 使用者は、使用目的である講演、会議、交流会その他の会合に参加している者が前項に掲げる行為を行った場合についても、統括副館長等の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

(光熱水費の負担)

第8条 統括副館長は、使用者が使用に際して相当の電気又は水道等の使用を伴う場合は、当該使用の目的及び使用実態等を勘案して、当該使用者に対して相当の光熱水費の負担を求めるものとする。

2 使用者は、前項の規定により、統括副館長から光熱水費の負担を求められた場合は、指示された期限までに納入しなければならない。

(収益等を伴う場合の取扱い)

第9条 施設等を使用する際に、収益を伴う使用及び観覧料等を徴する使用の場合については、この要領にかかわらず佐賀県公有財産規則（昭和40年佐賀県規則第6号）第19条及び第20条の規定に基づき処理するものとする。

附 則

この要領は、平成20年11月1日から施行する。

附則

この要領は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和3年6月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年6月1日から施行する

様式第1号 九州陶磁文化館施設等使用申込書（略）

様式第2号 九州陶磁文化館施設等使用承認書（略）

2 事業

(1) 展示活動

① 常設展 九州の陶磁

当館の常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が、順を追って把握できるように構成されています。

第1展示室は、展示内容を外国人にもわかりやすいものに磨き上げることにより、有田焼をはじめとする本県が誇るやきもの文化の魅力や価値を国内外に発信することを目的に令和4年にリニューアルしました。

順路は第1展示室（有田焼の歴史）から始まり、第2展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）を経由して第4展示室（現代の九州陶芸）で終わります。内容は、有田焼の歴史を映像や実物をもって知る第1展示室、江戸時代の有田磁器を展示した柴田夫妻コレクションの第2展示室、九州の古陶磁を鑑賞する第3展示室、九州の現代の陶芸作品を鑑賞する第4展示室となり、それぞれ特色があります。

規模の大きな企画展が開かれる場合は、第1、第2展示室を除いて他の2室は一時的に撤収しています。

会 期

令和7年（2025年）4月1日（火）～

令和8年（2026年）3月31日（火）（休館日を除く）

展 示 室

第1展示室（有田焼の歴史）

第2展示室（柴田夫妻コレクション）

第3展示室（九州の古陶磁）

第4展示室及び展示ホール（現代の九州陶芸）



第1展示室／日本磁器の完成

1) 有田焼の歴史（第1展示室）

この展示室では、有田焼の歴史を主題として、その誕生から技術改良と確立、近代化等、各テーマの小部屋を巡ることの有田焼のストーリーを体感することができます。各テーマを象徴する有田焼の名品を展示し、映像や空間を組み合わせで紹介しています。

また、有田焼の歴史を鑑賞した後は、有田焼を通してやきものに関心をもってもらえるように、さらに4つのテーマを設定しています。文様を選んで自分だけの有田焼をデザインできる「MY ARITA」コーナーでは、デザインした皿と一っしょに写真を撮ることもできます。

令和5年3月にはリニューアル後の内容をまとめた展示ガイドブック『有田焼の歴史～磁器が語る 奇跡のストーリー～』を刊行しています。また、令和6年3月には展示ガイドブックの英語版『History of Arita Ware ～A Miraculous Story Told in Porcelain～』も刊行しました。

なお、江戸時代に海外輸出された有田焼の蒲原コレクション101点は、この展示室で御覧になれます。

【展示内容】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 日本磁器の誕生 | 2. 技術の革新 |
| 3. 日本磁器の完成 | 4. 海を渡る |
| 5. 暮らしを彩る | 6. 新時代の幕開け |
| 7. 今とこれから | |

[テーマ展示]

有田焼ができるまで

有田焼 Q&A

やきもの産地マップ

有田焼のデザイン



第1展示室／新時代の幕開け

2) 柴田夫妻コレクション（第2展示室）

平成2年（1990年）から平成15年（2003年）にかけて柴田明彦・祐子夫妻から御寄贈いただいた江戸時代の有田磁器 10,311 点のうち 448 件 866 点を常設展示しています。

このコレクションの特徴は、有田磁器の歴史の変遷がわかるように各時代の様々な種類の作品が網羅されている点にあります。

この展示室では次のようなコーナーを設けて、有田磁器の様式の特徴、技術の変化、器種別の変遷などを紹介しています。

令和7年度は柴田夫妻ゆかりの器や年代による変遷に加え、種類、成形・装飾のコーナーについても展示替えを行いました。

【コーナー】

1. 柴田夫妻コレクション
2. 年代による変遷
3. 江戸時代の食膳
4. 種類
5. 成形・装飾
6. 手塩皿
7. 銘
8. 芙蓉手皿
9. 出土陶片との比較



コーナー1 / 柴田夫妻の器



コーナー9 / 出土陶片との比較

3) 九州の古陶磁（第3展示室）

常設展「九州の古陶磁」は、佐賀・福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄各県の主に江戸時代の陶磁器を紹介しています。

唐津焼に始まる肥前の陶磁器は、日本初の磁器を産み出した後、その発展にともない初期伊万里様式、柿右衛門様式、鍋島様式など様々な様式を産み出してきました。

また、九州各県に点在する茶陶の名窯や日常生活の中で愛された民窯では、地域色豊かな陶器や磁器が焼かれています。

展示総数は館蔵品を中心に 105 件 146 点です。

4) 現代の九州陶芸（第4展示室）

歴史的に多様な展開がみられる九州の陶芸は、それぞれ茶陶として、また芸術性の高い美術工芸品として、あるいは民陶として今日に受け継がれています。

こうしたなかで、創作的な活動を続けている陶芸作家を選び、その代表作を一堂に紹介したのが第4展示室の「現代の九州陶芸」です。現在、九州5県の88名による作品を展示しています。県別では佐賀県が最も多く、福岡県、鹿児島県の順で続いています。

展示室では、日本工芸会に所属している作家作品、さらに日展系・民陶系などの作家作品を御覧になれます。また水指・茶入など茶道具関連の作品も鑑賞できます。なお、日本芸術院会員や重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品は展示ホール（有田焼からくりオルゴール時計横）に展示しています。伝統的な陶芸技術を駆使した作品から、従来の陶芸技術とはおもむきの異なる前衛的な作品までが展示され、陶芸文化の多様性が示されています。

現代の九州陶芸 展示目録

令和 7 年（2025）5月20日～9月23日、12月16日～3月31日

展示総数：88件 92点

50音順

No.	氏名	県名	作品名	製作年	出品・入賞	所属
1	青木昌勝	佐賀県	氷青磁鉢	2021（令和3年）	第55回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
2	青木龍山	佐賀県	「韻Ⅱ」	1999（平成11年）	第38回日本現代工芸美術展出品作 館蔵	日展
3	荒木秀樹	鹿児島県	苗代川白紅彩鉢	2002（平成14年）	第49回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
4	有山禮石	鹿児島県	黒陶	2022（令和4年）	第68回県美展会員の部優秀賞	日展
5	石添秀正	長崎県	「凜華の空」	2020（令和2年）	改組新第7回日展出品作	日展
6	石橋國男	佐賀県	鉋彫青磁	2023（令和5年）	令和5年度佐賀県陶芸協会展出品作	日展
7	石原祥嗣	福岡県	彩陶扁壺	2018（平成30年）	第115回有田国際陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
8	井上俊一	福岡県	錫白銀彩面取壺	1988（昭和63年）	館蔵	無所属
9	井上泰秋	熊本県	小代肩衝水指 銘「流星」	2017（平成29年）		民陶
10	井上萬二	佐賀県	白磁緑釉椿彫文面取壺	1998（平成10年）	館蔵	日本工芸会
11	14代今泉今右衛門	佐賀県	色絵薄墨墨はじき雪文鉢	2012（平成24年）	館蔵	日本工芸会
12	今村博	佐賀県	流映	2021（令和3年）		日展
13	岩田義實	佐賀県	HiriHiri	2023（令和5年）		無所属
14	浦郷壮	佐賀県	爽流2021	2021（令和3年）	第55回西部伝統工芸展出品作	日展
15	浦郷好文	佐賀県	2021 初夏	2021（令和3年）	改組新第8回日展出品作	日展
16	江口勝美	佐賀県	和紙染剥抜更紗軸管	1997（平成9年）	館蔵	日本工芸会
17	太田秀隆	福岡県	藁灰釉花器	2010（平成22年）		日本工芸会
18	大橋裕	佐賀県	唐津搔落し姫木蓮鉢	2023（令和5年）		無所属
19	大村就康	福岡県	刷毛目壺	2021（令和3年）		日本工芸会
20	大宅利秋	佐賀県	「深相」	2023（令和5年）	第73回佐賀県展出品作	日展
21	岡本作礼	佐賀県	唐津叩き窯変壺	2023（令和5年）	第5回日本陶磁協会現代陶芸奨励賞 九州・沖縄展出品作	無所属
22	小川善光	佐賀県	みなも	2018（平成30年）	第31回現代工芸九州会展出品作	日展
23	奥川俊右衛門	佐賀県	白磁花卉花瓶	2016（平成28年）		日本工芸会
24	甲斐一	福岡県	鉄釉窯変数珠玉文組皿	2024（令和6年）	第58回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
25	梶原茂正	佐賀県	月白釉雲海文鉢	2024（令和6年）	第4回国際芸術展出品作	日本工芸会
26	勝田文博	佐賀県	和紙染花手毬文花器	2025（令和7年）	第59回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
27	亀井楽山	福岡県	高取胴ヘラ目肩衝茶入	2019（令和元年）		日本工芸会
28	河口純一	佐賀県	釉裏彩華文花器	2005（平成17年）	第52回伝統工芸展出品作	日本工芸会
29	川崎精一	佐賀県	月下美人陰刻花器	2014（平成26年）	第61回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
30	川添貞秀	長崎県	青白磁鎔彫壺	2025（令和7年）		日本工芸会
31	神田和弘	鹿児島県	集い	2012（平成24年）	第109回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	無所属
32	久保田烈工	熊本県	青白磁彫文器	2023（令和5年）		日本工芸会
33	久保満義	鹿児島県	予言	2023（令和5年）	第34回現代工芸美術九州会展	日展
34	熊谷無造	福岡県	上野釉裏紅椿文六角合子	2008（平成20年）		日本工芸会

35	熊本義泰	佐賀県	翠青磁バンビ蓋小壺	2022	(令和4年)		日本工芸会
36	高鶴元	福岡県	ニューイングランドの風#1	2021	(令和3年)		無所属
37	五嶋竜也	熊本県	白磁鉢	2023	(令和5年)	第57回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
38	厚東孝治	鹿児島県	弥生一邑の碑	2001	(平成13年)	第33回日展姉妹作品 館蔵	日展
39	14代酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手撫子文大皿	1998	(平成10年)		日本工芸会
40	15代酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手竹文鉢	2017	(平成29年)	第64回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
41	坂本義弘	佐賀県	布染葉文花器	2008	(平成20年)	館蔵	日本工芸会
42	佐々木厚	福岡県	陶	2022	(令和4年)		無所属
43	貞松善次	佐賀県	黎明	2007	(平成19年)		日展
44	嶋田敏生	佐賀県	風紋	1984	(昭和59年)		無所属
45	庄村健	佐賀県	藍染花器	1996	(平成8年)	第93回九州山口陶磁展第文部大臣賞 館蔵	日本工芸会
46	庄村久喜	佐賀県	白妙彩磁壺	2018	(平成30年)		日本工芸会
47	白武初芳	佐賀県	「山河の輝き」	2025	(令和7年)	第121回有田国際陶磁展朝日新聞社賞	日展
48	世良彰彦	福岡県	流韻“蓄”	2024	(令和6年)	改組新第11回日展入選作	日展
49	添田和信	福岡県	銀彩鱗文鉢	2022	(令和4年)	第58回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
50	高木清次	長崎県	爽	1986	(昭和61年)		日展
51	高田さとこ	鹿児島県	春霞一五・B	2015	(平成27年)	第33回南日本女流美術展委嘱作家出品作	日展
52	13代高取八山	福岡県	高取大皿	2022	(令和4年)		無所属
53	高森誠司	佐賀県	萌葱青磁鉢	2022	(令和4年)		日本工芸会
54	立井清人	長崎県	埋め込み大鉢	2007	(平成19年)	第104回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
55	田中忍	佐賀県	白い夏-VIII	2010	(平成22年)	第107回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日展
56	15代沈壽官	鹿児島県	薩摩朝顔香爐	2020	(令和2年)		無所属
57	津金日人夢	熊本県	青磁花瓶	2020	(令和2年)		日本工芸会
58	辻聡彦	佐賀県	「波立つ」	2002	(平成14年)	第99回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日展
59	寺崎康子	佐賀県	「覚醒」	2024	(令和6年)	第61回日本現代工芸美術展出品作	日展
60	照井一玄	佐賀県	絵磁器壺「装うIV」	2021	(令和3年)		日展
61	徳澤守俊	福岡県	朝鮮唐津水指	2010	(平成22年)	日本陶芸展招待作品	日本工芸会
62	中尾純	佐賀県	白磁面取線彫花器	2020	(令和2年)		日本工芸会
63	中尾恭純	佐賀県	四方襷文彩色象嵌面取花生	2008	(平成20年)	第105回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
64	14代中里太郎右衛門	佐賀県	叩き青唐津壺	2020	(令和2年)		日本工芸会
65	中里逢庵	佐賀県	叩き面取瓶	1992	(平成4年)	第24回日展出品作 館蔵	日展
66	中島宏	佐賀県	青瓷線彫文壺	2009	(平成21年)	館蔵	日本工芸会
67	中島康夫	佐賀県	2004-3II	2004	(平成16年)	第101回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日展
68	中村多美こ	佐賀県	和紙染鉢	2018	(平成30年)		日本工芸会
69	中村清吾	佐賀県	白磁鉢	2021	(令和3年)	第117回 有田国際陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
70	中村慎	佐賀県	「風の息」	2014	(平成26年)	改組新第1回日展出品作	日展
71	西山正	佐賀県	青白磁千段深鉢	1995	(平成7年)	第92回九州山口陶磁展文部大臣賞 館蔵	日本工芸会
72	野中拓	佐賀県	天目桜紋皿	2022	(令和4年)		日本工芸会
73	馬場九洲夫	佐賀県	「朝霞」	2022	(令和4年)	改組新第9回日展出品作	日展

74 福島善三	福岡県	中野月白瓷壺	2022 (令和4年)	館蔵	日本工芸会
75 福吉浩一	熊本県	炭化線象嵌鎬陶管「さざ波」	2022 (令和4年)	第69回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
76 藤ノ木土平	佐賀県	唐津灰被「風の踊り子」四方壺	2022 (令和4年)		無所属
77 松尾勝也	佐賀県	艶釉彩深鉢「想」	2023 (令和5年)	第70回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
78 松尾潤	佐賀県	焼〆緋彩花器	2012 (平成24年)	第59回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
79 松本浩	佐賀県	彫文壺	2017 (平成29年)		日本工芸会
80 丸田延親	佐賀県	夕暮れ 2020	2020 (令和2年)	改組新第7回日展入選作	日展
81 溝上藻風	佐賀県	唐津石はぜ茶鉢	2023 (令和5年)		日展
82 宮尾正隆	佐賀県	「吉野ヶ里城閣」	2022 (令和4年)	第104回美協展出品作	日展
83 宮崎祐輔	佐賀県	白金銀彩シルクロード文角皿	2022 (令和4年)	第69回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
84 矢鋪與左衛門	佐賀県	白磁篆刻文蓋物	1983 (昭和58年)	第33回県展出品作	日本工芸会
85 山口文彦	佐賀県	青白磁線文壺	2019 (令和元年)	第66回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
86 山口幹彦	佐賀県	白磁八角面取壺	2018 (平成30年)		日本工芸会
87 山口春右衛門	長崎県	白磁広口面取壺	2011 (平成23年)		日本工芸会
88 六平	佐賀県	白磁鉢	2020 (令和2年)	第67回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会

所属別構成		県別構成	
日本工芸会	49	佐賀県	57
日展	27	福岡県	14
民陶	1	長崎県	5
無所属	11	熊本県	5
		大分県	0
		宮崎県	0
		鹿児島県	7
		沖縄県	0
計	88	計	88

現代の九州陶芸 展示作品



5 「凜華の空」
石添秀正
2020年 長崎県
改組新第7回日展出品作



14 爽流 2021
浦郷壮
2021年 佐賀県
第55回西部伝統工芸展出品作



26 和紙染花手毬文花器
勝田文博
2025年 佐賀県
第59回西部伝統工芸展出品作



42 陶
佐々木厚
2022年 福岡県



70 「風の息」
中村慎
2014年 佐賀県
改組新第1回日展出品作



74 中野月白瓷壺
福島善三
2022年 福岡県
館蔵

② 企画展・テーマ展など

主催展

1) 新収蔵品展

令和5年度と令和6年度に購入や寄贈などにより新たに当館のコレクションとなった作品のうち49件92点をお披露目しました。佐賀の旧家に伝わった鍋島藩窯製品をはじめ、江戸期から明治期の有田焼、旧アウグスト強王所蔵品であったことが明らかな、柿右衛門様式を写したマイセン製の色絵皿、有田国際陶磁展の文部科学大臣賞受賞作品など幅広い作品を紹介することができました。

主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室、展示ホール
会 期	令和8年（2026年）1月28日（水） ～2月26日（木） 26日間
休 館 日	月曜日
観 覧 料	無料
入 館 者	4,256人 1日平均 163人
出 品 数	49件92点
展示内容	柿右衛門様式、マイセン、現代の陶芸作品など



展示風景



染付白鷺蓮文変形皿
肥前 有田 1650年代
佐賀古澤家寄贈



色絵花卉文八角小鉢（柿右衛門様式）
肥前 有田 南川原山 1670～1690年代
香月健一氏寄贈



色絵甕割唐子文八角皿
ドイツ マイセン 1730年頃
ザクセン選帝侯アウグスト強王旧蔵品



中野月白瓷壺 福島善三
重要無形文化財保持者 福岡県（1959～）
令和4年（2022年）

2) 開館 45 周年記念 特別企画展「初期伊万里ビッグバン ―日本磁器始まりの全貌―」

開館 45 周年を記念し、初期伊万里をテーマにした特別企画展「初期伊万里ビッグバン―日本磁器始まりの全貌―」を開催しました。

今から約 400 年前、それまでの日本になかった技術が朝鮮半島から導入されて白く硬質な磁器が開発され、産業として急速に発展しました。近年の研究により、最初期には多久や伊万里で磁器の開発が試みられましたが、有田で爆発的に生産が発達したことが分かってきました。本展覧会では初期の磁器生産に焦点をあて、現代を生きる私たちをも魅了する初期伊万里の優品と、草創期の技術開発の様子をうかがい知ることができる資料から、これまでの研究成果をもとにその起源と発展の真相に迫りました。

主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第 3～5 展示室
会 期	令和 7 年（2025 年）10 月 4 日（土） ～12 月 7 日（日） 56 日間
休 館 日	月曜日 ※ 10 月 13 日（月・祝）、11 月 3 日（月・祝）、24 日（月・振休）は開館し、翌日休館
観 覧 料	一般 800 円（700 円）、但し高校生以下等無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金
入 館 者 出 品 数	5,239 人 1 日平均 93 人 200 点

展 示 構 成	プロローグ 日本磁器出現前夜 第 1 章 初期伊万里ビッグバン―日本磁器誕生― 窯跡出土資料にみる草創期の磁器生産、古文書が語る草創期のストーリー 第 2 章 磁器生産の本格化 有田における本格的磁器生産、磁器生産の広がり、文様の展開―中国磁器の影響 第 3 章 磁器生産体制の確立 第 4 章 きらめく星々―多彩な需要と創造― 器を彩る技法、茶・花・香、磁器大皿の創出 エピローグ 宇宙は膨張する―日本磁器の革新―
---------	--

イベント

- ① 記念講演会「肥前磁器始まりの全貌」
日時 令和 7 年 10 月 5 日（日）14 時～15 時半
会場 九州陶磁文化館 講堂
講師 当館名誉顧問 大橋康二
- ② 館長によるスペシャルギャラリートーク
日時 令和 7 年 11 月 1 日（土）14 時～15 時
講師 当館館長 鈴田由紀夫
- ③ 九州陶磁文化館やきものセミナー
 - 1) 初期伊万里ビッグバンのみどころ―ビッグバンに至る磁器開発の様相―
日時 令和 7 年 10 月 18 日（土）
13 時 30 分～15 時
会場 九州陶磁文化館 講堂
 - 2) 初期伊万里ビッグバンのみどころ―多彩な装飾と文様の魅力―
日時 令和 7 年 11 月 15 日（土）
13 時 30 分～15 時
会場 九州陶磁文化館 講堂



展示風景



展示風景



展示風景

〈主な展示作品〉



白磁碗
肥前 高麗谷窯 1600～1610 年代
多久市教育委員会所蔵



染付騎牛笛童子文皿
肥前 有田 1610～1630 年代
公益財団法人今右衛門古陶磁美術館所蔵



染付山水文大皿
肥前 有田 1630～1640 年代
個人蔵



染付辰砂鳥形香合
肥前 有田 1630～1640 年代
個人蔵



染付鳳凰文壺
肥前 有田 1630～1640 年代
個人蔵



染付松文瓶
肥前 有田 1630～1640 年代
個人蔵



《佐賀県重要文化財》
銚瑠璃青磁釉蓮鷺文輪花三足皿
肥前 有田 1640 年代
佐賀県立九州陶磁文化館所蔵
小荷田謙一氏寄贈



青磁貼付梅枝文大合子
肥前 1630～1640 年代
個人蔵



《重要文化財》
染付山水文輪花大皿
肥前 有田 1640～1650 年代
佐賀県立九州陶磁文化館所蔵
今泉吉郎氏寄贈

共催展

1) 第 121 回 有田国際陶磁展（美術工芸品・オブジェ部門）

趣 旨

我が国における磁器発祥の地、佐賀県有田町に世界の陶磁器作品を集め、一般の鑑賞に供し、技術の交流、品質の向上、デザインの改善を図り、伝統工芸の継承と産業的発展を期して、この陶磁展を開催します。 <開催要項より>

審 査 評

日本で最も長い歴史を持つ公募展も今年は 121 回目を迎えることとなりました。九州・山口という地域での公募展から国際的な公募展へと発展し、美術工芸品・オブジェ部門と、異なる場で活躍する作家の作品が一堂に会するという公募展に、今年も多くの特作が集まってきました。

今回、審査を担当したのは前田昭博さん、桑原紀子さんと伊藤の三人です。最初にそれぞれが 30 作品を選ぶところから審査は始まりました。その後、検討と投票を繰り返しながら 72 作品の入選作品を選出しました。入賞作品は、入選作品からそれぞれ 5 作品を選び、入賞候補を選出。そこから上位 5 作品、続いて 10 作品と選んでいきました。

1 位文部科学大臣賞となったのは浦郷正一郎さんの作品「気まぐれなコンポジション」です。紐づくりによって、オブジェの持つ豊かさが、ゆったりとした器の形の中に宿っています。「静」と「動」を意識することから生まれたという自由な表現の楽しさとともに。

2 位佐賀県知事賞は嶋田敏生さんの「連作 嘆きの壁」です。過去に入賞もされている作品の連作ですが、この作品では白磁という中での表現とすることで、より強い表情を持ちえた作品となったところが評価されました。

3 位有田町長賞は森山寛二郎さんの「伸」は流れるような二つの曲線の組み合わせ、そこから生まれる躍動感がこの作品の生命です。従来の黒の作品から一歩踏み出した色彩と艶消しの表現も注目です。

4 位有田商工会議所会頭賞は赤塚幸恵さんの「白磁釉内彩鉢」です。釉内彩という独特の彩の技法を駆使して、ゆったりとした鉢の内外を飾っていきます。

この公募展では作品に作家からのメッセージが添えられています。これは見る者にとって、また、作り手にとっても、とても大切なことだと思います。見る者にとっては作品を見る入口がそこから広がってってくれます。作り手にとっては、自らの一歩がそこに確実に記さることとなり、それが新たな扉を開くきっかけにもなるからです。

<審査員長 伊藤嘉章氏 審査評より>

会 期 令和 7 年(2025 年) 4 月 29 日 (火・祝) ～ 5 月 6 日 (火・振) (8 日間)

会 場 第 4 ～ 5 展示室

主 催 佐賀県、有田町、有田商工会議所

出品概要 入選 72 点 うち入賞 15 点

招待作品 4 点 (美術工芸品・オブジェ部門)

出品目録 A 4 版 28 ページカラー

入 館 者 2,518 人 1 日平均 315 人

審 査 員 伊藤嘉章 愛知県陶磁美術館 総長

桑原紀子 日展 会員

前田昭博 日本工芸会 参与



気まぐれなコンポジション

浦郷 正一郎

第一位 文部科学大臣賞

美術工芸品・オブジェ部門 出品概要



展示風景

県名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
山口県	4	5	4	0
福岡県	12	13	11	3
佐賀県	38	39	30	9
長崎県	8	8	6	0
熊本県	1	1	0	0
大分県	0	0	0	0
宮崎県	1	1	1	0
鹿児島県	1	1	1	0
沖縄県	0	0	0	0
他国内	28	30	14	2
外国籍	7	7	5	1
計	100	105	72	15

<有田国際陶磁展 入賞者名簿>

賞	作品名	氏名	住所
文部科学大臣賞	気まぐれなコンポジション	浦郷 正一郎	佐賀県武雄市
2位・佐賀県知事賞	連作 嘆きの壁	嶋田 敏生	佐賀県有田町
3位・有田町長賞	伸	森山 寛二郎	福岡県東峰村
4位・有田商工会議所会頭賞	白磁釉内彩鉢	赤塚 幸恵	佐賀県武雄市
佐賀県陶芸協会賞	黒釉掛分象嵌鉢「行方」	井上 るり子	福岡県福岡市
朝日新聞社賞	山河の輝き	白武 初芳	佐賀県佐賀市
熊本放送賞	天目壺（雷）	野中 拓	佐賀県武雄市
佐賀新聞社賞	白妙彩磁壺	庄村 久喜	佐賀県有田町
サガテレビ賞	彩線文 鉢	花田 和彦	佐賀県有田町
陶業時報社賞	春日	原田 隆子	兵庫県姫路市
西日本新聞社賞	釉象嵌花器	中尾 純	佐賀県有田町
日本経済新聞社賞	黒彩彫文大鉢「花」	太田 剛速	福岡県東峰村
読売新聞社賞	翔	山口 浩子	佐賀県有田町
伝統的工芸品産業振興協会賞	skeletal work	加藤 好康	愛知県西尾市
陶都有田国際交流協会賞	UKIYO 浮世	Johanna De Maine	佐賀県白石町

<招待作品>（審査員・重要無形文化財）

作品名	氏名	住所
白瓷面取壺	前田 昭博（審査員）	鳥取県鳥取市
風紀行 6	桑原 紀子（審査員）	京都府京都市
白磁緑釉染葡萄彫文鉢	井上 萬二（重要無形文化財「白磁」保持者）	佐賀県有田町
色絵薄墨墨はじき梅萩文花瓶	今泉 今右衛門（重要無形文化財「色絵磁器」保持者）	佐賀県有田町

後援展

1) 溝上和政作品展—彩色テラコッタの宇宙—

趣 旨

イタリアのミラノで30年以上創作活動が続けている溝上和政(有田町出身)の作品展。
ミラノで制作した色彩豊かなテラコッタの陶彫を展示しました。

会 期	令和7年5月20日(火)～6月22日(日)(30日間)
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室
主 催	溝上和政作品展実行委員会
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館・有田町・有田町教育委員会
展示内容	45点
入 館 者	4,979人 1日平均 165人
イベント	開会式 5月20日(火) 10時～10時30分 ※終了後溝上和政氏による展示解説



展示風景



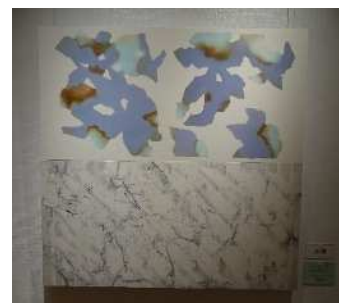
ギャラリートークの様子

2) 第46回九州新工芸展

趣 旨

九州新工芸家連盟は工芸の本質を問い、現代に望まれ、未来を明示できる生活造形を確立することを目標としています。生活のなかに求められるもの、生活を豊かにするための造形美を追求し、多様化する造形指向の中にある工芸の位置付けを明確にしたいと考えています。工芸活動は、陶芸、金工、漆芸、染色をはじめ、木竹、皮革、硝子、七宝、人形、紙工芸など、多岐にわたり生活との接点が非常に多いものです。各作家の各分野で素材を生かした造形作品の出品を期待します。＜開催要項より＞

会 期	令和7年(2025年)7月2日(水) ～7月13日(日)(11日間)
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館
主 催	九州新工芸家連盟
後 援	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県 大分県・宮崎県・鹿児島県 佐賀県立九州陶磁文化館・読売新聞社・ NHK佐賀放送局・佐賀新聞社・サガテレビ
展示内容	29点 (磁器6点・陶器3点・染色13点・竹工6点・人形1点)
入 館 者	865人 1日平均 79人



「呼吸するかたち」鳥谷 さやか
令和7年度 大賞

審査員	鈴木 由紀夫	佐賀県立九州陶磁文化館館長
	松村 信俊	NHK佐賀放送局経営管理企画センター営業部長
	生野 徳三	公益社団法人日本新工芸家連盟顧問
	田中 嘉生	公益社団法人日本新工芸家連盟理事
	田中 忍	公益社団法人日本新工芸家連盟審議員
	奥田 民子	公益社団法人日本新工芸家連盟会員

九州新工芸 令和7年度受賞者リスト				
賞	作品名	分野	氏名	福岡県福岡市住所
大賞	呼吸するかたち	染色	鳥谷 さやか	佐賀県佐賀市
福岡県知事賞	遊	陶器	井上 康	福岡県福岡市
佐賀県知事賞	光の方へーⅢ	磁器	田中 忍	佐賀県嬉野市
長崎県知事賞	g o!!!	染色	猪俣 美帆	福岡県福岡市
熊本県知事賞	木の声	染色	荒木 久仁子	熊本県天草市
大分県知事賞	燕燕于飛	竹工	池田 義弘	大分県別府市
宮崎県知事賞	花火	竹工	大鍛冶 来未	大分県豊後高田市
鹿児島県知事賞	ひとひら 5.02	竹工	長谷川 絢	大分県竹田市
九州陶磁文化館館長賞	白磁接合歪み瓶	磁器	LEE JONGWOO	佐賀県有田町
城秀男賞	青い木かげ	染色	井上 夏音	佐賀県佐賀市
読売新聞西部本社賞	白波	陶器	内田 義信	長崎県佐世保市
佐賀新聞社賞	奄美回想	染色	奥田 民子	東京都新宿区
NHK 佐賀放送局賞	水紋のふしぎ	染色	吉村 希代子	福岡県福岡市
サガテレビ賞	晩秋	染色	徳永 武洋	福岡県朝倉市

3) 第21回 伊万里・有田焼伝統工芸士会展

趣 旨

この展示会を通じて伝統的工芸品伊万里・有田焼がいかに関生活に深く根差し、興味溢れるものかを、さらには現在の伝統的工芸品産業伊万里・有田焼の姿と活動を県民に親しみやすく、また楽しく表現し、伊万里・有田焼のある暮らしに興味と再認識を呼び起こすとともに、新しい生活文化を広く提案するものです。＜開催趣旨より＞

会 期	令和7年（2025年）8月9日（土）～8月17日（日）（8日間）
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室
主 催	伊万里・有田焼伝統工芸士会
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館、（一財）伝統的工芸品産業振興協会、 佐賀県陶磁器工業協同組合、国立大学法人佐賀大学
展示内容	伝統工芸士と陶磁器技能士による作品 約60点を展示
入 館 者	1,499人 1日平均 187人



展示風景



展示作品

4) 第34回 陶千坊展

趣 旨

「子供のように純真・純粋な感性と心で焼き物を製作し、新しいことに果敢に挑戦する仲間として集い、自由でかつ達な運営により相乗的な技術的向上と発展を目指す陶芸展」の開催を目標とし、今回で34回目を迎える。

＜開催主旨より＞

会 期	令和7年（2025年）8月26日（火）～8月31日（日）（6日間）
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室
主 催	陶千坊
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	陶芸作品全般（オブジェ、器、陶人形等） 約300点を展示
入 館 者	643人 1日平均 92人



展示風景



展示作品

5) ロマ佐賀やきものの展

趣 旨

「ロマンシング佐賀」は、「サガ」シリーズ25周年を記念して、佐賀県と「サガ」シリーズがコラボレーションしたことからスタートした協同プロジェクトです。

2014年から継続的に行われてきた「ロマンシング佐賀」は、今年で11周年を迎えます。「ロマンシング佐賀」では、佐賀県を代表する伝統工芸品である有田焼とのコラボレーションを数多く手掛けており、大皿や陶板モニュメントが製作されています。

去年は、ロマ佐賀10年間の集大成を東京・佐賀で多くの方々に楽しんでいただきました。

何度も足を運んでくださる熱いファンも増え、その想いはさらに広がっています。

その情熱に応え、「また佐賀に行きたい」と心が高鳴るような、新たなスタートの年にするため、日本を代表するやきもの町「伊万里・有田」で、これまで手掛けた有田焼とのコラボレーション作品を展示紹介する「ロマ佐賀やきものの展」を開催します。

＜開催趣旨より＞

会 期	令和7年（2025年）12月16日（火）～1月16日（金）（23日間）
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室
主 催	佐賀県 関係人口創出チャレンジ事業協議会
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	「明けの明星～いつか旅するものへ～」他
作 品 数	29件95点
入 館 者	2,279人 1日平均 78人



展示風景



展示風景

6) 第 57 回有田工業高等学校卒業制作展

趣 旨

本校は工業の原点である「ものづくり」を通して、創造的で、行動力に満ちた、他者への思いやりの心を持つ人間性豊かなスペシャリストの育成を目指しております。

このたび開催予定の卒業制作展で発表する作品は、卒業学年の「課題研究」で取り組んだものを中心に、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作したものです。

この作品展は 55 年前にデザイン科のみでスタートしましたが、平成元年よりセラミック科が加わり年ごとに充実し、西暦 2000 年には創立 100 周年を機に本校の一層の発展を期して全校・全学科をあげて開催することになりました。今後も「ものづくり」の有田工業高校の更なる飛躍を目指す所存でございますので、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

<開催要項より>

会 期 令和 8 年（2026 年）1 月 20 日（火）～1 月 25 日（日）（6 日間）

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第 5 展示室及び研修室 1

主 催 佐賀県立有田工業高等学校

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 約 200 点展示

展示内容

【セラミック科】ろくろ成形の研究、手びねり・板づくり成形の研究、鑄込み・押し型成形の研究、陶磁器加飾法の研究、リサイクル磁器の研究、釉薬・陶紙の研究

【デザイン科】各自が設定した共通テーマを元に手がけた地域におけるデザイン企画の提案（商品企画・製品試作・ブランディング・イベント企画運営・地域活性化プラン他）・陶磁器コースの作品

【電気科】空き缶分別機の製作、ゲーム制作、体験型展示用作品の製作、モールス信号発生装置の製作、ビーコロの製作

【定 時 制】定時制の生徒作品・聴講生作品

入館者 2,037 人 1 日平均 339 人



展示風景



展示風景



展示風景

7) 第 41 回 陶交会展

趣 旨

今回のテーマは「color」です。色彩という意味の「color」、また出展者それぞれの特色という意味の「color」です。各窯の特色を生かした作品や、色彩豊かな作品で華やかで見応えのある展示にできればと思います。また今回も佐賀大学の学生の作品も併わせて展示致します。

<開催要項より>

会 期	令和 8 年（2026 年） 3 月 3 日（火）～ 3 月 8 日（日）（6 日間）
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第 5 展示室
主 催	陶交会
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県陶磁器工業協同組合
展示内容	テーマ『color』、陶交会に参加している 14 名により制作発表される作品と、佐賀大学有田キャンパスの学生の作品
入 館 者	1,124 人 1 日平均 187 人



展示風景



展示作品

③ 九州陶磁文化館やきもののセミナー

当館の学芸員が陶磁器に関する知識や展覧会のみどころなどをお話しする講座。
陶磁器の歴史や文化、技法や様式の変化など様々なテーマを設定。
令和7年度は、令和7年6月～令和8年3月にかけて全11回開催。

日 時 6月から 毎月第3土曜日（特別版を除く） 13：30～15：00
会 場 研修室1・講堂等
受講料 無料 ＊事前申込不要、当日受付

開催日	講座タイトル	担当	参加人数
6月21日 (土)	古伊万里の輸出と陶磁器の東西交流	藤原 友子	44名
7月19日 (土)	〔明治日本の産業革命遺産〕世界遺産登録10周年 佐賀藩の近代化事業と陶磁器―反射炉用耐火煉瓦の生産と三重津 海軍所の特注磁器を中心に―	徳永 貞紹	36名
8月16日 (土)	【初心者・子ども向け】やきもの間違い探し	宮木 貴史	30名
9月20日 (土)	やきもの漢詩紀行―肥前磁器の詩句文を楽しむ―	芳野 貴典	27名
10月18日 (土)	特別企画展「初期伊万里ビッグバン」関連講座 初期伊万里ビッグバンのみどころ ―ビッグバンに至る磁器開発の 様相―	宮木 貴史	36名
11月15日 (土)	特別企画展「初期伊万里ビッグバン」関連講座 初期伊万里ビッグバンのみどころ―多彩な装飾と文様の魅力―	巖 由季子	32名
12月20日 (土)	有田焼の史料を読み直す―江戸中期編―	芳野 貴典	15名
1月17日 (土)	佐賀で発掘された中国の陶磁器	徳永 貞紹	16名
2月11日 (水)	やきものセミナー特別版 ～白い黄金をデジタルに～	コーラ・ ヴェルメル氏 (ドレスデン 国立美術館)	36名
2月21日 (土)	新収蔵品展関連講座 新収蔵の古伊万里、マイセン、鍋島について	藤原 友子	22名
3月21日 (土)	やきものに描かれた鳥	巖 由季子	23名

④ 利用状況

1) 月別会館日数・入館者数

月	開館日数	入館者数
4	27	3,649
5	26	5,390
6	25	2,891
7	27	2,751
8	27	3,606
9	25	2,447

月	開館日数	入館者数
10	27	4,388
11	26	5,071
12	24	2,902
1	24	3,824
2	24	4,224
3	26	4,275

合計	308	45,418
平均	25.7	3,785

2) 展覧会別入館者数

No.	展覧会名	区分	会期	日数	入館者数
1	第121回 有田国際陶磁展	共催	4/29 ～ 5/6	8	2,518
2	溝上和政作品展—彩色テラコッタの宇宙—	後援	5/20 ～ 6/22	30	4,979
3	第46回 九州新工芸展	後援	7/2 ～ 7/13	11	865
4	第21回 伊万里・有田焼伝統工芸士会展	後援	8/9 ～ 8/17	8	1,499
5	第34回 陶千坊展	後援	8/26 ～ 8/31	6	643
6	開館45周年記念 特別企画展 「初期伊万里ビッグバン—日本磁器始まりの全貌—」	主催	10/4 ～ 12/7	56	5,239
7	ロマ佐賀やきもの展	後援	12/16 ～ 1/16	23	2,279
8	第57回 有田工業高等学校 卒業制作展	後援	1/20 ～ 1/25	6	2,037
9	新収蔵品展	主催	1/28 ～ 2/26	26	4,256
10	第41回 陶交会展	後援	3/3 ～ 3/8	6	1,124

(2) 館蔵資料等の貸出・閲覧・撮影など

① 貸出資料数一覧

許可 番号	No.	目的（事業・展覧会等）	貸出期間	貸出先	貸出	
					件数	点数
607	1	佐賀県庁来賓室で展示	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	佐賀県秘書課	1	1
608	2	佐賀県首都圏事務所応接室で展示	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	佐賀県首都圏事務所	2	2
609	3	令和7年度常設展示および調査研究のため	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	愛知県陶磁美術館	—	183
610	4	佐賀県議会議長室で展示	R5. 4. 1 ～ R6. 3. 31	佐賀県議会事務局	2	2
611	5	特別展「江戸時代に華ひらいた福岡のやきもの」で展示	R7. 9. 1 ～ R7. 12. 28	九州歴史資料館	14	18
612	6	イベント「有田“器・酒・音”を たのしむ会」で使用	R7. 10. 26 ～ R7. 10. 26	エフエム佐賀	6	6
令和7年度 貸出資料数： 26 件 212 点						

② 館蔵資料等の閲覧・撮影・画像原稿借用・画像使用等

区分	件数	点数
閲覧・撮影	25	390
画像使用（印刷物掲載・放映等）	65	695
合計	90	1085

このほか、施設としての撮影 5 件

(3) 教育普及活動

① 展示案内

団体案内は予約制（令和6年度からWebフォームによる予約受付導入）だが、要望に応じて随時対応している。

令和7年度 団体観覧

	展示案内		自由観覧		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	15	329	2	103	17	432
5月	16	342	11	1,198	27	1,540
6月	11	367	4	142	15	509
7月	4	97	12	240	16	337
8月	5	91	8	137	13	228
9月	17	232	7	229	24	461
10月	19	401	5	211	24	612
11月	22	553	12	396	34	949
12月	6	141	8	184	14	325
1月	5	59	14	688	19	747
2月	9	83	14	816	23	899
3月	22	154	5	403	27	557
計	151	2,849	102	4,747	253	7,596

令和7年度 学校行事観覧

	幼稚園		小学校		中学校		高校		大学		専門学校		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	0	0	1	24	0	0	0	0	1	14	1	7	3	45
5月	2	75	2	82	0	0	0	0	2	80	0	0	6	237
6月	4	123	1	118	0	0	0	0	0	0	0	0	5	241
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	3	50	0	0	3	50
8月	0	0	0	0	0	0	1	16	2	32	0	0	3	48
9月	0	0	0	0	1	5	1	40	5	105	1	11	8	161
10月	0	0	1	56	0	0	3	227	1	4	0	0	5	287
11月	0	0	2	108	0	0	3	128	3	71	0	0	8	307
12月	0	0	0	0	1	87	1	8	2	32	0	0	4	127
1月	0	0	0	0	0	0	9	622	1	20	0	0	10	642
2月	2	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	60
3月	2	122	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	3	150
計	10	380	8	416	2	92	18	1,041	20	408	2	18	60	2,355

② イベント・行事など

1) 笑顔 de さいこうマルシェ in 九州陶磁文化館

期 間 令和7年(2025年)4月29日(火・祝)～5月5日(月・祝)(7日間)
場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランスホール
内 容 お菓子・雑貨・手芸品など個性あふれる7店舗が九州陶磁文化館に出店しました。



2) 夏休み子どもわくわく体験！学びと遊びと体験と！

期 間 令和7年(2025年)7月19日(土)～8月24日(日)
場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランスホール・研修室1
内 容 夏休みのイベントとして、ものづくり体験ワークショップなどを開催しました。

〔有田焼はしおき作り〕

型押し成型体験と箸置き用の素焼
生地に色呉須で絵付け体験

8/9(土)、8/10(日)



〔有田焼文様うちわ作り〕

有田焼文様が描かれたうちわに
塗り絵をしてオリジナルづくり

期間中毎日開催



〔陶片アート作り〕

有田焼の陶片を貼り付けてフォト
フレームづくり体験

期間中毎日開催



[有田焼マグカップ絵付け]

らくやきマーカーで絵付けをして
有田焼のオリジナルマグカップ作り

期間中毎日開催



[エコバッグ作り]

お相撲さんスタンプでエコバッグ
の飾り付け体験

期間中毎日開催



[ミニコンサート]

佐賀交響楽団メンバーによる
弦楽器と管楽器のアンサンブル

7/27 (日)



[やきもののセミナー]

やきもの間違い探し

8/16 (土)



[やきもののクイズ]

各展示室のクイズに正解すると
オリジナル缶バッジプレゼント

期間中毎日開催



3) 秋のイベント (秋の九州陶磁文化館まつり)

期 間 令和7年(2025年)11月20日(木)～11月24日(月・祝)

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランスホール・研修室1

内 容 秋の有田陶磁器まつりに合わせて、ものづくり体験、音楽、グルメのイベントを開催しました。

[鎌倉手毬監修 和菓子づくり体験]

子どもでも楽しみながら体験できる
練り切り体験
できた和菓子を自分で選んだ有
田焼の豆皿に盛りつける体験

11/22 (土)



【匠の技！伝統工芸士から学ぶ本格的な絵付け（染付）体験】

伊万里・有田焼伝統工芸士会の方から本格的な染付を学ぶワークショップ。伝統工芸士（下絵付け部門）2名が講師。中立紙で文様を写すところから濃み描きまで本格指導

11/23（日）



【折り紙で有田焼模様の器づくりにチャレンジ】

折り紙で有田焼の器（八角皿）づくり

期間中毎日開催



【ありた みんなとコンサート】

チェロ奏者（石原まりさん）と佐賀交響楽団メンバーによるコンサート

11/24（月・祝）



【ポップアップカフェ】



期間中毎日開催

【やきもののクイズラリー】

展示室を巡ってクイズに正解するとオリジナル缶バッジプレゼント

期間中毎日開催



4) クリスマスイベント（九陶ポーセリン クリスマス 2025）

期 間 令和7年（2025年）12月13日（土）～25日（日）
場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランスホール・研修室1
内 容 エントランスホールに 2.4 メートルのクリスマスツリーを設置して、お客様をお出迎え。クリスマスにちなんだものづくり・音楽・グルメのイベントを開催しました。



【松ぼっくり de ツリー作り】

松ぼっくりなど自然の素材を使ったミニクリスマスツリー作り。完成したら有田焼豆皿に飾ろう

12/13（土）



【やきものタイル de リース作り】

やきものモザイクタイルを使ってクリスマスリースづくり

12/16（火）～12/25（木）



【お絵かき やきもののツリー】

陶器でできたクリスマスツリー貯金箱に、お絵かき

12/16（火）～12/25（木）



【管弦楽ミニコンサート】

佐賀交響楽団メンバーによる弦楽器と管楽器のアンサンブルコンサート。

12/21（日）



[ポップアップカフェ]

地元の旬野菜を活かしたスイーツ、ホットドリンクを提供

12/20（土）～12/21（日）



[やきもののクイズ]

展示室を巡りクイズに正解された方に、オリジナル缶バッチをプレゼント

期間中毎日開催



5) ひなまつりイベント（ひなまつり九陶フェス）

期 間 令和8年（2026年）2月3日（火）～3月8日（日）

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランスホール・講堂・玄関前広場

内 容 有田雛のやきものまつり（R8.2.7～3.8）にあわせて、地域の皆様に親しみをもってもらえるよう様々なイベントを実施しました。

[世界最大の白磁びな七段飾りの展示]

県窯業技術センターも協力して、平成17～20年度にかけて制作された世界最大の白磁びな七段飾りを展示。



[ひなまつりぬりえ展示]

有田町内の保育園・認定こども園の園児の「ひなまつりぬりえ」を展示。



[オリジナルエコバック作り]

文様風スタンプやひなまつりスタンプを使って、オリジナルエコバックづくり

期間中毎日開催



6) ミュージアムショップ

[オリジナルグッズの制作]

令和7年度新たに販売開始した九州陶磁文化館オリジナルグッズ

- ・オリジナルマグカップ
- ・染付福字文天目形椀
- ・ミクロス干支セット（大・小）
- ・ミクロス干支箸置きセット
- ・クリヤファイル（色絵芙蓉文大皿）
- ・トートバック
- ・フィールドノート



③ 印刷物等の刊行

特別企画展 図録

「開館 45 周年記念特別企画展 初期伊万里ビッグバンー日本磁器始まりの全貌ー」

編集：佐賀県立九州陶磁文化館

発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：令和 7 年（2025 年）10 月 4 日

規格：A 4 判、オールカラー、和英併記（一部）、230 ページ

内容：出品作品 200 件を紹介。展覧会総説、コラム、章・節解説、論考、資料を掲載。

展覧会総説

・「初期伊万里ビッグバン」展について（巖由季子）

論考

- ・肥前磁器始まりの全貌（大橋康二）
- ・朝鮮時代の白磁ー15 世紀から 17 世紀前半の窯跡発掘資料を中心に（片山まび）
- ・文禄・慶長の役における佐賀藩の行軍の行程と朝鮮王朝時代の白磁の生産構造（藤原友子）
- ・高麗谷窯跡展に関する覚書（藤井伸幸）
- ・初期伊万里生産窯のサヤについて（宮木貴史）
- ・初期伊万里の史料を読み直すー同時代史料を中心にー（芳野貴典）

資料

- ・初期伊万里関連文献史料リスト
- ・初期伊万里関連地図
- ・初期伊万里関連年表
- ・参考文献



開館 45 周年特別企画展 図録
初期伊万里ビッグバン
ー肥前磁器始まりの全貌ー

紀要「佐賀県立九州陶磁文化館 研究紀要」第 11 号

編集：佐賀県立九州陶磁文化館

発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：令和 8 年（2026 年）3 月 19 日

規格：A 4 判、96 ページ

内容：

論考

- ・肥前陶磁器の窯詰めに敷いたモミガラについての研究（井上康彦・大橋康二）
- ・佐賀藩の近代化事業と陶磁器（1）
ー反射炉用資材と陶磁器産地（徳永貞紹）
- ・17 世紀前半に肥前で生産された鳥形香合について（巖由季子）
- ・『山本神右衛門重澄年譜』の再検討（芳野貴典）
- ・中国磁器銘の集成ー富永コレクション・高取家コレクション・柴田夫妻コレクションー（宮木貴史）

資料紹介

- ・瀬川コレクションの大皿地文様（鈴田由紀夫）
- ・「マイセン製 色絵甕割唐子文八角皿（司馬温公図皿）」について（1）（藤原友子）



佐賀県立九州陶磁文化館
研究紀要 第 11 号

館報「セラミック九州」No. 62

編集：佐賀県立九州陶磁文化館

発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：令和8年（2026年）3月19日

規格：A4判、オールカラー、8ページ

内容：

令和7年度企画展の報告

・特別企画展 初期伊万里ビッグバン
ー日本磁器始まりの全貌ー

・新収蔵品展ー鍋島から現代作までー

令和8年度企画展のお知らせ

・特別企画展 柿右衛門窯跡発掘調査50周年記念

・柿右衛門とマイセン 旅する花文様ー陶磁の東西交流ー

調査ノート オーストリアの肥前磁器（藤原友子）

肥前磁器文様の構図（2） 有田大皿の表文様について

ー事例2 く字構図の皿4点ー（宮木貴史）



セラミック九州 No. 62

④インターンシップ・職場体験・研修の受入れ

1) インターンシップ・職場体験

期 間 令和7年(2025年)8月25日(月)、8月26日(火)、8月27日(水)

受講者 佐賀県立有田工業高校 デザイン科2年 生徒2名

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 館内での業務体験(インターンシップ)

- ・特別企画展準備補助
- ・オリジナルグッズ等の企画書作成
- ・施設見学、受付業務
- ・展示案内、広報物整理、図書整理

期 間 令和7年(2025年)9月3日(水)、9月4日(木)

受講者 有田町立西有田中学校 2年 生徒2名

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 館内での業務体験(職場体験学習)

- ・受付業務
- ・施設見学、販売商品の整理
- ・特別企画展準備補助
- ・展示案内、広報物整理、図書整理

2) 研修

期 間 令和7年(2025年)5月22日(木)、6月10日(火)、7月7日(月)

受講者 株式会社香蘭社 社員 2名

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 館内での学芸業務研修

- ・館の運営の概要
- ・収蔵資料整理
- ・陶磁資料の取り扱い方
- ・展覧会準備の実務

期 間 令和7年(2025年)8月21日(木)、8月22日(金)

受講者 有田町立西有田中学校 教諭 2名

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 館内での業務体験研修(企業・福祉施設等体験研修)

- ・受付窓口業務
- ・ワークシート作成
- ・ミュージアムグッズ検討
- ・施設見学、案内業務

⑤ 講演など

No.	期日	演題	主催・場所	対象	講師
1	R7. 10. 15	佐賀の陶磁器文化	主催：(公財) 佐賀県長寿社会 振興財団 場所：唐津市 りふれ研修室	ゆめさが大学 唐津校 基礎課程受講者	宮木貴史
2	R7. 10. 16	佐賀の陶磁器文化	主催：(公財) 佐賀県長寿社会 振興財団 場所：佐賀市 アバンセ第1研修室	ゆめさが大学 佐賀校 基礎課程受講者	巖由季子
3	R7. 11. 1	初期伊万里ビッグバン 磁器の開発と展開	主催：公益財団法人孔子の里 場所：東原庁舎	一般	巖由季子
4	R7. 11. 20	特別展「初期伊万里ビッグ バン」について	主催：韓国陶芸財団 場所：当館講堂	京畿道陶磁博物館 「博物館陶磁文化 講座」受講者	藤原友子
5	R7. 11. 27	佐賀の陶磁器文化	主催：(公財) 佐賀県長寿社会 振興財団 場所：鳥栖市 鳥栖市社会福祉会館	ゆめさが大学 鳥栖校 基礎課程受講者	芳野貴典
6	R7. 12. 2	佐賀の陶磁器文化	主催：(公財) 佐賀県長寿社会 振興財団 場所：鹿島市 かたらい多目的室	ゆめさが大学 鹿島校 基礎課程受講者	宮木貴史
7	R7. 12. 2	「博物館相互交流事業」 ” 磁器からピクセルへ”	主催：博物館協力国際 エージェンシー 場所：オンライン	海外博物館学芸員	大橋康二 藤原友子
8	R8. 1. 15	佐賀の陶磁器文化	主催：(公財) 佐賀県長寿社会 振興財団 場所：佐賀市 アバンセ第3研修室	ゆめさが大学 佐賀校 基礎課程受講者	芳野貴典
9	R8. 1. 22	陶磁器からみた三重津と その周辺	主催：博愛の里中川副まち づくり協議会ほか 場所：佐賀市立中川副公民館	中川副公民館成人 学級受講者	徳永貞紹
10	R8. 2. 1	草場船山の政治思想— 『蟋蟀之吟』を読む（前編）	主催：公益財団法人孔子の里 場所：東原庁舎	一般	芳野貴典
11	R8. 2. 25	社会科：有田焼の学習	主催：佐賀市立春日北小学校 場所：佐賀市立春日北小学校	佐賀市立春日北小 学校4年生	芳野貴典

(4) 調査研究活動

① 調査

No.	期日	目的	調査地	調査者
1	R7. 4. 23, 5. 14, 5. 27, 6. 4	資料調査	有田町	大橋康二 藤原友子 宮木貴史 巖由季子
2	R7. 5. 16～5. 18	資料調査	愛知県	藤原友子
3	R7. 5. 21	資料調査	武雄市	大橋康二 藤原友子 宮木貴史 巖由季子
4	R7. 5. 29	資料調査	唐津市	大橋康二 徳永貞紹 宮木貴史 巖由季子
5	R7. 6. 24	資料調査	武雄市	芳野貴典
6	R7. 11. 8～11. 9	資料調査	愛知県	鈴田由紀夫 藤原友子
7	R7. 12. 25	資料調査	福岡県	巖由季子 宮木貴史 藤原友子
8	R8. 1. 31～2. 1	資料調査・出品交渉	栃木県、東京都	鈴田由紀夫 藤原友子
9	R8. 2. 27	寄贈予定資料等調査・資料預り	長崎県	鈴田由紀夫 徳永貞紹
10	R8. 3. 10～3. 13	肥前磁器所蔵等調査・学術交流	大韓民国光州広域市、 全羅南道木浦市	江副敏弘 徳永貞紹

② 調査協力・広報・研修など

No.	期日	内容	場所	主催・依頼等	担当者
1	R7. 5. 14 ～ 5. 16	九州博物館協議会総会	沖縄県	九州博物館協会	芳野貴典
2	R7. 5. 24 ～ 5. 25	大阪万博オランダパビリオン トークショー	大阪府	国際政策 G	巖由季子
3	R7. 7. 3 ～ 7. 8	資料借用	東京都、埼玉県	—	巖由季子
4	R7. 7. 9 ～ 7. 11, 7. 17	資料借用	福岡県、佐賀県	—	藤原友子 宮木貴史 巖由季子
5	R7. 7. 15	佐賀の歴史文化連携研究会	佐賀大学	佐賀の歴史文化連 携研究会	徳永貞紹 藤原友子 芳野貴典
6	R7. 8. 24 ～ 8. 29	知事随行・資料調査	ウィーン、ドレス デン	国際政策 G・文化課	藤原友子
7	R7. 9. 16.	資料借用	佐賀県	—	巖由季子
8	R7. 9. 24 ～ 9. 27	資料借用	東京都	—	宮木貴史
9	R7. 12. 1 ～ 12. 13	東洋陶磁学会大会	沖縄県	東洋陶磁学会	巖由季子
10	R7. 12. 15 ～ 12. 19	資料返納	東京都・埼玉県	—	宮木貴史 巖由季子
11	R7. 12. 22 ～ 12. 26	資料返納	福岡県・佐賀県	—	巖由季子
12	R8. 12. 16 ～ 12. 18	韓国 国立光州博物館 「陶磁文化館」開館式	大韓民国 光州広域市	韓国 国立光州博物館	鈴田由紀夫 徳永貞紹
13	R8. 1. 15 、 1. 16	資料返納、資料輸送	福岡県	—	鈴田由紀夫 藤原友子 宮木貴史
14	R8. 1. 26	陶磁ネットワーク会議	愛知県	陶磁ネットワー ク会議	宮木貴史 三ヶ島成海
15	R8. 2. 2	佐賀の歴史文化連携研究会	佐賀大学	佐賀の歴史文化連 携研究会	芳野貴典
16	R8. 2. 6	佐賀城本丸御殿跡調査研究 事業に係る指導員会議	佐賀城本丸歴史館	県立佐賀城本丸歴 史館	徳永貞紹

③ 依頼資料調査

本館（来館）での依頼調査	33 回	(184 件 194 点)
写真等での依頼調査	45 回	(122 件 126 点)
計	78 回	(306 件 320 点)

(5) 資料収集活動

① 関係資料の収集

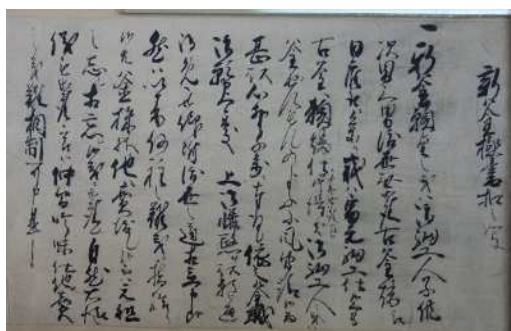
令和7年度は、寄贈資料11件11点、購入資料4件9点を新たに収蔵した。
 総計 15,566件 29,292点(令和8年3月31日現在)



購入資料 色絵竹虎牡丹文皿
 柿右衛門様式
 有田 南川原山
 1670～1690年代



購入資料 色絵梅鶉文ティーポット
 ドイツ マイセン
 1735年頃



購入資料 三川内焼関係資料 6点のうち
 江戸後期

② 図書資料の収集

報告書	170
目録	5
紀要	122
海外	61
図録	122
年報	74
一般図書	28
その他	8
合計	590

※ 文化財の指定

- ・令和7年（2023年）5月2日に鉄絵蒲公英文茶碗（収蔵番号 14636 高取家コレクション）が佐賀県重要文化財（工芸品）に指定された。

記号番号 : 重第261号

種別 : 佐賀県重要文化財（工芸品）

名称及び員数：鉄絵蒲公英文茶碗 一口

【指定の理由】（文化財指定答申書から抜粋）

本作品は、絵唐津のなかでも類例の知られていない蒲公英の意匠を中心とする沓茶碗の優品であることに加え、沓茶碗の中でも初期と考えられる形状であり、大名外交に茶陶が用いられるなかで重用された唐津焼の歴史背景を雄弁に物語っていることから、きわめて重要な作例であると評価される。



3 佐賀県立九州陶磁文化館資料目録

令和7年度（2025.4～2026.3）

凡 例

1 この資料目録は、令和7年度の収蔵資料15件20点（寄贈・購入）を掲載している。

寄贈 11件 11点

購入 4件 9点

管理換 0件 0点

令和7年度末の館蔵品総数は15,566件 29,292点である。

2 平成30年度までは、「収蔵番号」については、収蔵登録番号と収蔵年度で〈00000－30〉と表示していたが、令和元年度（2019年）から収蔵登録番号と収蔵年（西暦）で〈00000－2019〉と表示している。

3 寸法の単位はセンチメートルである。

4 令和3年度から分類の大区分の一部を変更した。

（1）「近世の肥前陶磁」032.古伊万里・承応様式を031.古伊万里・正保様式に統合した。

（2）「現代の陶磁器」を旧「現代作家作品」から改め、240.佐賀県Ⅱ松本佩山は230.佐賀県に統合した。

近世の肥前陶磁	011. 唐津系陶器
	021. 初期伊万里様式
	030. 古伊万里様式
	031. 古伊万里・正保様式
	033. 古伊万里・寛文様式
	034. 古伊万里・延宝様式
	035. 古伊万里・元禄様式
	036. 古伊万里・宝暦様式
	037. 古伊万里・天明様式
	038. 古伊万里・文政様式
	041. 柿右衛門様式
近世の九州陶磁 (県外)	051. 鍋島藩窯様式
	060. 長崎の陶磁器
	070. 福岡の陶磁器
	080. 熊本の陶磁器
	090. 大分の陶磁器
	100. 宮崎の陶磁器
	110. 鹿児島島の陶磁器
近代資料	120. 沖縄の陶磁器
	130. 佐賀県 近代
九州以外 他	140. 九州（県外） 近代
	150. 九州以外 近世
	160. 九州以外 近代
世界の陶磁器	170. 陶磁器関連資料（文書・図案など）
	180. 中国の陶磁器
	190. 朝鮮の陶磁器
	200. アジアの陶磁器
	210. ヨーロッパの陶磁器
現代の陶磁器	220. その他の世界の陶磁器
	230. 佐賀県
	250. 長崎県
	260. 福岡県
	270. 熊本県
	280. 大分県
	290. 宮崎県
	300. 鹿児島県
	310. 沖縄県
	320. 九州以外
	330. 国外

収蔵番号	資料名	数量	生産地／制作者	年代	口径	高さ	底径	館蔵寄贈
[041. 柿右衛門様式]								
15567 -	2025 色絵竹虎牡丹文皿	1	有田 南川原山	1670～1690年代	20.0	3.3	13.0	購入
[130. 佐賀県 近代]								
15562 -	2025 軸下彩詩句文大花瓶	1	佐賀県 有田町	明治20年（1887）	38.4	103.4	32.8	寄贈 齊藤美枝子氏寄贈
[170. 陶磁器関連資料（文書・図案など）]								
15564 -	2025 三川内焼関係資料	6	筆者不明	江戸後期（うち2件は宝暦2年（1764）、文化2年（1805））	縦15.2cm×横21.5cm他			購入
[210. ヨーロッパの陶磁器]								
15553 -	2025 染付花鳥文大皿（芙蓉手）	1	オランダ	1650～1660年代	39.5	5.8	22.4	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15554 -	2025 染付花鳥文大皿（芙蓉手）	1	オランダ	1650～1660年代	39.2	5.3	21.8	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15555 -	2025 染付花鳥文大皿（芙蓉手）	1	オランダ	1650～1660年代	38.2	5.6	19.4	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15556 -	2025 染付花鳥文大皿（芙蓉手）	1	オランダ ハールレムか	1645～1660年代	31.6	5	16.5	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15557 -	2025 染付家屋船文皿	1	オランダ	1650年代	21.3	3.1	12	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15558 -	2025 染付山水唐人文大皿	1	オランダ	1670～1680年代	40.5	5.5	19.2	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15559 -	2025 染付山水唐人文大皿	1	オランダ	1670～1680年代	33.2	5.0	16.3	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15560 -	2025 染付花鳥文大皿（芙蓉手）	1	オランダ デルフト	17世紀後半	33.2	5.0	16.3	寄贈 Jan M. Baart氏寄贈
15565 -	2025 色絵花鳥虫文カップアンドソーサー	1	ドイツ マイセン	1730～1735年頃	カップ7.5 ソーサー12.5	カップ4.7 ソーサー2.6	カップ3.6 ソーサー7.4	購入
15566 -	2025 色絵梅鶉文ティーポット	1	ドイツ マイセン	1735年頃	幅12.5× 7.5 身口 径開口部 3.0 蓋径 4.4	総高8.5 身 高7.6 蓋高 1.9 蓋底 径2.4		購入
[230. 佐賀県]								
15561 -	2025 気まぐれなコンポジション	1	佐賀県 浦郷正一郎（1959年～）	令和7年（2025年）	37.6	22.0		寄贈 浦郷正一郎氏寄贈
15563 -	2025 軸裏紅紅魚大皿	1	佐賀県 松本佩山（初代）（1895～1961）	昭和14年（1939）	52.2×35.0	8.5	20.3	寄贈 青木玲子氏寄贈

年度	購入		寄贈		管理換		総件数	総点数
	件数	点数	件数	点数	件数	点数		
昭和 53 (1978)	0	0	0	0	12	16	12	16
昭和 54 (1979)	0	0	0	0	37	66	37	66
昭和 55 (1980)	47	57	4	5	0	0	51	62
昭和 56 (1981)	38	55	12	19	0	0	50	74
昭和 57 (1982)	37	45	129	492	0	0	166	537
昭和 58 (1983)	66	112	43	79	4	4	113	195
昭和 59 (1984)	109	168	18	19	1	1	128	188
昭和 60 (1985)	57	79	20	21	3	3	80	103
昭和 61 (1986)	30	57	13	20	0	0	43	77
昭和 62 (1987)	30	47	18	25	0	0	48	72
昭和 63 (1988)	40	58	58	84	0	0	98	142
平成 元 (1989)	37	60	21	30	1	1	59	91
平成 2 (1990)	33	46	1,090	2,491	1	1	1,124	2,538
平成 3 (1991)	47	134	241	359	1	1	289	494
平成 4 (1992)	8	16	336	646	1	1	345	663
平成 5 (1993)	14	18	27	40	0	0	41	58
平成 6 (1994)	10	10	572	1,514	1	1	583	1,525
平成 7 (1995)	19	19	211	598	1	1	231	618
平成 8 (1996)	5	5	759	1,788	1	1	765	1,794
平成 9 (1997)	8	18	300	526	1	1	309	545
平成 10 (1998)	35	35	272	563	12	12	319	610
平成 11 (1999)	25	46	284	797	84	85	393	928
平成 12 (2000)	1	1	172	386	0	0	173	387
平成 13 (2001)	9	9	194	480	0	0	203	489
平成 14 (2002)	4	5	632	1,304	0	0	636	1,309
平成 15 (2003)	6	6	329	813	0	0	335	819
平成 16 (2004)	14	14	59	65	0	0	73	79
平成 17 (2005)	5	9	69	75	0	0	74	84
平成 18 (2006)	9	9	574	1,775	0	0	583	1,784
平成 19 (2007)	6	6	47	64	0	0	53	70
平成 20 (2008)	0	0	415	695	0	0	415	695
平成 21 (2009)	0	0	512	1,030	0	0	512	1,030
平成 22 (2010)	0	0	222	281	0	0	222	281
平成 23 (2011)	0	0	3,652	4,818	0	0	3,652	4,818
平成 24 (2012)	0	0	200	250	0	0	200	250
平成 25 (2013)	3	3	30	59	1	1	34	63
平成 26 (2014)	0	0	223	249	0	0	223	249
平成 27 (2015)	1	1	678	1,089	0	0	679	1,090
平成 28 (2016)	2	2	21	43	0	0	23	45
平成 29 (2017)	3	3	618	637	1	18	622	658
平成 30 (2018)	1	1	165	177	0	0	166	178
令和 元 (2019)	3	231	1,122	2,934	0	0	1,125	3,165
令和 2 (2020)	3	5	3	3	2	2	8	10
令和 3 (2021)	0	0	5	5	0	0	5	5
令和 4 (2022)	0	0	159	179	0	0	159	179
令和 5 (2023)	2	6	58	95	0	0	60	101
令和 6 (2024)	1	1	31	37	0	0	32	38
令和 7 (2025)	4	9	11	11	0	0	15	20
合計	772	1,406	14,629	27,670	165	216	15,566	29,292

佐賀県立九州陶磁文化館年報・資料目録
No. 45 令和 7 年度

発 行 日 令和 8 年(2026 年) 8 月 10 日
編集・発行 佐賀県立九州陶磁文化館

〒844-8585
佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1
TEL 0955-43-3681
<https://saga-museum.jp/ceramic/>
E-mail: kyuto@pref.saga.lg.jp



Website



facebook



X

